

片瀬だより

令和6年6月25日 発行
 編集・発行
 片瀬だより編集委員会
 藤沢市片瀬3丁目9番6号
 電話 29-7171
 FAX 25-8907

◎申込みは、すべて本館へ電話・来館(平日のみ午前8時30分〜午後5時まで)または電子申請で
公民館事業のお知らせ 申込み、詳細は広報・地域回覧・ホームページ・学校配布のチラシをご確認ください。

片瀬公民館(本館)

夏休み子ども事業 《要申込》
 日時：7月23日(火)『カラフル黒板を作ろう!』
 8月1日(木)・2日(金)
 『やってみよう 手話!』
 ※各回、午前10時から正午まで

楽しく子育て 《要申込》
 日時：7月17日(水)
 『保育士さんとあそぼ!①
 ~お絵かきしよう~』
 8月21日(水)
 『親子であそぼ!~3B体操~』
 9月18日(水)
 『保育士さんとあそぼ!②~つくってみよう』
 ※各回、午前10時から11時30分まで

海洋科学教室 (電子申請申込締切7/5)
 日時：8月28日(水)
 午前9時30分から午後3時まで
 場所：新江ノ島水族館

知笑の輪倶楽部 《要申込》
 第1回『旬の野菜を食べよう
 ~免疫力を高めるご飯~』
 日時：9月12日(木)
 午前10時から正午まで

おひざの上のおはなし会とわらべうた
 日時：7月12日(金)・9月13日(金)
 午前11時から正午まで

【片瀬だより編集委員会より】
 10月に行われる「ふれあいまつり」で古本市を行います。詳細につきましては次号の「片瀬だより」をご確認ください。

片瀬しおさいセンター

スマホお助け隊 《要申込》
 日時：7月18日(木)
 8月15日(木)
 9月19日(木)
 午前9時から正午まで

おもちゃの病院
 日時：7月20日(土)
 8月17日(土)
 9月21日(土)
 午後1時30分から
 3時30分まで

**ようこそ小さな空間
 『アンソレイユ』**
 日時：7月 1日(月)
 8月 5日(月)
 9月 2日(月)
 午前10時から正午まで

**昼のエクササイズ
 『優しく体を整えるヨガ』**
 日時：7月19日(金)
 8月16日(金)
 午前10時から
 11時まで

**赤ちゃんとママの
 ふれ愛タイム 《要申込》
 『バランスボール』**
 日時：9月5日(木)
 午前10時から
 11時15分まで

**夏休み子ども事業 《要申込》
 『バウンドテニスを
 体験しよう!』**
 日時：7月29日(月)
 30日(火)
 《低学年》午前9時から
 10時30分まで
 《高学年》午前10時45分から
 12時15分まで

**夜のエクササイズ
 『脂肪燃焼!
 ボクシングエクササイズ』**
 日時：9月11日(水)
 午後7時から8時まで

母親と
 2か月から1歳0か月児



はじめまして

新たに着任された片瀬小学校の池田校長・片瀬中学校の椿教頭・片瀬公民館の森井館長をご紹介します。



片瀬小学校 池田 亜津子校長

4月に片瀬小学校校長として着任しました。大好きな江の島に近い学校となり、これから片瀬地域のことを知っていくのが楽しみです。引き続き、学校へのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



片瀬中学校 椿 陽子教頭

助け合い、愛を大切にした学校生活をおくれるようにと思います。そして、生き生きとした生徒たちの姿を見ることができるよう、支えていきたいと思っています。



片瀬公民館 森井 理恵

片瀬で仕事をすることになり4年目を迎えました。今年度からセンター長・公民館長として地域の皆さんと共に頑張ります。片瀬は本当に地域愛の強いところだと感じております。

片瀬の老舗を訪ねて②

「片瀬写真館」②

1923年(大正12年)9月1日午前11時58分、関東大地震が発生しました。マグニチュードは7.9とされています。最近の研究では詳細な断層の動きが分かっています。断層のすべりは、まず神奈川県西部の松田町の地下2.5km付近で始まり、それが相模湾、三浦半島、房総半島へと伝わりました。小田原付近と三浦半島付近では、最大10mにも及ぶ大きく滑ったところがあり、挟まれた湘南地域ではとくに激しい揺れが観測されました。(藤沢市史プロジェクト5「関東大震災とふじさわ」)

当日、横浜で地震に遭遇した創業者の熊谷治純さんは、急いで片瀬に戻りました。その後カメラ機材を担ぎ、災害の様子を徒歩で撮影。その範囲は横浜、鎌倉、箱根にまで及びました。撮影された写真の多くは貴重な資料として、現在も関東大震災関連の書物などに数多く掲載されています。地元片瀬をはじめ鶴沼、藤沢駅周辺の写真を見ると、被害の大きさに驚くと共に、大震災が身近なところまで起きたことを改めて感じます。片瀬の写真館で被災された治純さんの家族の方々は当時1歳だった写真館の2代目、守美さんを抱え、地割れなどをこえて、龍口寺



鶴沼で被災した画家 岸田劉生氏(右側手前)



洲鼻通り

の山に避難されたそうです。片瀬写真館は幸いにも地震による倒壊や津波の被害から免れました。昭和初期に撮影された店の賑わいから震災からの復興が順調に行われた様子がわかります。



忠犬ハチ公

右の写真は2代目守美さんが12歳の時、1934年(昭和9年)に渋谷で撮影した「ハチ公」です。これまで写真の存在は知られていましたが、所在不明でした。昨年、「白根記念渋谷区郷土博物館」の企画展「ハチ公生誕100年記念」展で公開の打診があり、写真館3代目の美波さんが膨大な写真資料の中から再発見されました。ハチ公は当時から有名で、守美さんは渋谷で何度も見かけたとお話されていたそうです。そして戦中、戦後へと続きます。



昭和初期の賑わい 中央の少年が2代目守美さんです

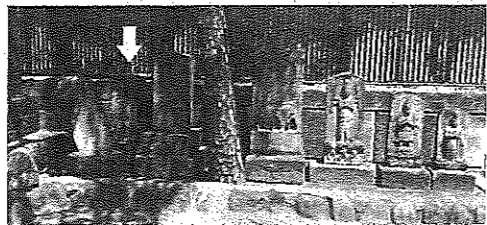
江の島道をめぐる

「片瀬泉蔵寺参道脇の石造物」

今回は今年が片瀬小学校創立百五十年とこのことで、片瀬小学校傍にある石造物を紹介しましょう。

片瀬小学校の校庭南側、泉蔵寺参道脇に幾つかの石造物が建っています。

これらの中、珍しい庚申塔「楨形牛王(ますがたごおう)庚申塔」(写真矢印)があります。写真ではわかりづらいかもしれませんが「藤沢市の文化財―石仏を訪ねて―」(藤沢市教育委員会1997年)によれば、「塔の上部に日と月、雲上にそびえる富士山、その中央に「庚申」の文字、その下に米を盛った楨を三方に載せ、その前に三猿が座っています。これは富士信仰の庚申塔で、銘は富士山の右に「天下泰平五穀成就」、左に「一切衆生二世安楽」、三方の左右に「人王六代孝安天王庚申年ヨリ當寛政十二庚申年凡三十六度」と刻まれています。(中略)この塔の図柄は、かつて、富士吉田の御師(おし)が富士講の人に授けた呪符(まじない)だ・おまもり)の構図で、「楨形牛



楨形牛王

王」と呼ばれていました。富士縁起では、富士山の出現は孝安天皇九十二年庚申の年で、庚申神を開元祖神とし、この六十年毎の御縁年が寛政十二年で三十六度目だとしています。」とあります。

御師とは、特定の寺社に所属して、全国各地を訪ねては呪符・お札を配りながら、その寺社の利益の宣伝や参拝を促し参詣となれば参拝の案内や宿泊業も兼ねる半俗の宗教者のことで「富士吉田の富士山信仰用具調査報告書 富士吉田市文化財調査報告書第11集」第2分冊(富士吉田市教育委員会2021年)には富士吉田の御師が配った呪符の版木の実測図が掲載されています。こちらの庚申塔と同じ構図(図版は版木実測図を反転)であることがわかります。この片瀬の庚申塔は三十六度目とありましたが、こちらの版木には三十七度目の庚申御縁年とあり、それは万延元年にあたります。またこの絵札には「富士山は穀物が積もったような形をしていることから『穀集山』と呼ばれ、このことから、穀物を楨に入れて数える単位『合』が、富士山の

高さを測るのにも使われるようになった」と書かれているようで、楨が描かれている由縁がわかります。このように呪符としてはよく見られた構図のようですが、この構図が刻まれた石造物としては全国でもこれだけかもしれませんよ。

これらの石造物はおそらく、もとは路傍に建てられていたものが、何かの事情によりこちらに移設されたものもあると思われ、今では片瀬小学校の脇からは富士山を拝むことができませんが、この庚申塔が建てられた頃はきっと富士山の拝めるところに建てられていたことでしょう。

片瀬小学校創立 150周年イベント

イベントを企画しているのは「カタセノウタ」という会のメンバーです。皆さんは、多くの人たちにお世話になった片瀬の街に恩返しをしたいという気持ちから、平成元年の卒業生(47・48歳)が会を発足しました。片瀬小学校創立150周年を盛り上げるイベントで盛り上げようと計画中です。7月27日(土)には片瀬小学校の校庭・体育館などを会場として、さまざまな催しものが開催されます。在校生、卒業生に限らず、どなたでもご参加できます。



祝 片瀬小学校創立150周年

片瀬小学校は、1874年(明治7年)本蓮寺(片瀬3丁目)に臨海学舎として創立されました。その後、幾度かの校地移転と名称変更を重ねて現在の片瀬小学校に至っています。



大正14年(1925年)4月 鎌倉郡川口尋常高等小学校落成



令和6年(2024年) 現在の片瀬小学校

10月に行われる「第45回片瀬地区ふれあいまつり」で片瀬小学校150周年イベントについての講演会や写真の展示を予定しております。

「江之島分校と片瀬小学校」

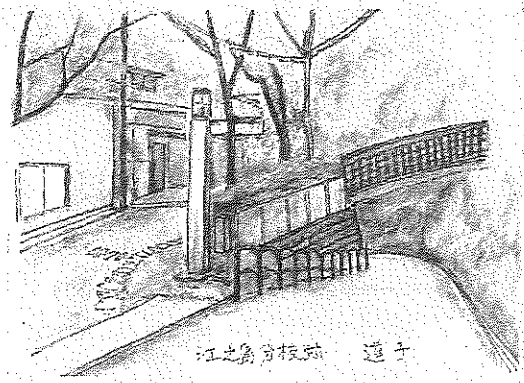
中村 喬

ふるさと片瀬、今昔あれこれ(4) 塩を穴に入れるとマテ貝がびゅーっととび出してくる。持ち帰ってご飯のおかずにした。今、江の島の海でマテ貝は採れるのだろうか。そのころ片瀬の子どもたちは海岸でアオヤギ採りに興じていた。私たちはバカ貝と呼んでいた。分校の同窓生たちの絆はかたい。集

1874年(明治7年)江島学舎として開校し、1884年(明治17年)には片瀬学で合唱する。宮川達夫先生が作詞を校江之島分教場となり、1961年(昭和36年)に廃止となるまで多くの島の子どもたちが学んだ。その子どもたちは五年生 宮川氏は分校の先生、多くの子どもになると、本校の片瀬小学校に通うことに たちに慕われた。佐藤氏は日本の音楽なっていた。島から通ってくる子どもたちの教育の分野で名を残された著名な人は片瀬の子どもたちにとつては大変興味物である。

島の春は二月、ノリやワカメの収穫で始まるという。磯の口の開く日には分校も臨時休校にして島民総出で海に出ることもあつたらしい。私たち片瀬の子どもは早朝浜に出て流れつくワカメを拾ったりはしたが岩ノリ掻きやワカメの口開けの日は知らなかった。磯で掻き集めた岩ノリは干されて「はばのり」となった。私の家では「はば」と呼んでいた。さつとあぶって炊き立てのご飯に振りかけて食べた時の味と香りは忘れられない。令和の今も二月になると江の島産の「はばのり」は売りに出されているが、ノリ掻きをする人も少なくなつてすっかり貴重品になつてしまった。

学校が終わるとかばんを放り出してマテ貝をとりて浜に飛び出していく日々もあつたという。穴を見つけて家から持ってきた



江之島分校跡 遺子

江之島分校跡

【江の島の子らは早退野分だつ】

「雲間にそそり立つ 富士の嶺仰ぎ 学べ学べ遊べ遊べ ああ江の島分校」 「江之島分校の歌」の二番の歌詞である。

片瀬市民図書室からのご案内

電話 28-6935

市内に在住、在勤、在学の方ならどなたでも、一人10冊まで2週間借りられます。

(開室時間)

火曜日

午前10時～午後5時

《新刊案内》

『毎週1話、読めば心がシャキツとする13歳からの生き方教科書』 藤尾 秀昭

『70歳から難聴・耳鳴り・認知症を防ぐ対処法』 石井 正則

『るるぶ埼玉・川越・秩父・鉄道博物館』 25』 益田 ミリ

『歩く地図録倉・横浜散歩2025』 新川 帆立

『今日の人生3』 益田 ミリ

『女の国会』 新川 帆立

『二人目の私が夜歩く』 辻堂 ゆめ

【図書室からのお願い】

図書室、図書館の本は、雨やその他の理由で、濡れたり、汚れてしまうと、その後使用できなくなる場合があります。その程度によっては、弁償していただく事もありますので、どうかお気をつけ下さい。よろしくお願ひします。

のぞいてみよう！公民館 「片瀬少年少女探検隊」



プログラミング体験



川名の清水谷戸で自然体験

今年度27回目となる『片瀬少年少女探検隊』。小学4～6年生を対象に自然体験をはじめとする体験活動を通じ、主体性や健やかな人間関係、問題解決力を育むことを目的とした事業です。コロナ禍や時代とともに内容も様変わりし、防災やAIも取り入れ、ボランティアさんや大学の研究室の学生さんにもご協力いただいで行なう事業です。今年度は9月開始で、夏休み前に参加募集を行う予定です。多くのお子さんの参加をお待ちしています。

編集後記

五月晴れの土曜日、トンボ口の浜を歩いて江の島へ渡りました。モノレールに乗ってやって来た保育園児たちがカニを見つけてはしゃいでいました。弁天橋の橋脚を額縁にして富士山の姿を見ることができました。片瀬・江の島の豊かな自然のなかで暮らせる幸せを実感しました。(N)